



CS（コミュニティ・スクール）と小・中一貫教育

平成16年9月から、新しい公立学校運営の仕組みとしてコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が導入されました。コミュニティ・スクールは保護者や地域の皆さんの声を学校運営に直接反映させ、保護者・地域・学校・教育委員会が一体となってより良い学校を作り上げていくことを目指すものです。三鷹市では平成18年度から平成21年度までにコミュニティ・スクールの基盤とした9年間の連続した学びを実現する「小・中一貫教育校」を開園し、中学校区単位に7学園あります。三鷹の森学園は第三中学校、第五小学校、高山小学校からなり、平成21年度より開設され、6年目を迎えました。

学園長 柳瀬 泰



三鷹の森学園の三代目学園長として、今年度、CS委員会で取り組みたいと考えていることの一つに、学園の「中期的な教育ビジョンの構想」があります。三鷹の森学園の今後の教育はどうあるべきか、少なくとも6年後の東京オリンピック以降に目線を置いて論議を行い、次代を担う世代を育てたいと思います。言うまでもなく、この先、子供たちが向き合う社会は、さらに変化が激しいことが予想されます。変化し続ける時代に求められる資質・能力とは何か、学園としてそれをどのように伸ばしていくのか、CS委員会は具体的にはどのような手法を用いてその目標を達成するのか等々、論議を進め、子供たちにとって、「この学園で学べてよかった」そう実感してもらえようような教育実践を目指していきたいと考えています。

会長 石井 章夫



我が『三鷹の森学園』が開園し6年目となりました。

学校でもなくPTAでもない児童・生徒への支援を行う団体は、現在たくさん有り日々活動しているわけですが、学校とより直接的な連携をし、子供たちの笑顔・地域の笑顔を意識しているのがCS委員会です。これからは在りつづける組織であることと、地域が学校を支え学校を中心とした『顔の見える連携』というかけがえのないものを意識し続けていく想いです。三鷹の森が紡ぎ、織りなす色にはこれを読んでいる皆さんも入っています！

今後ともご理解・ご協力のほど宜しくお願い致します。

平成26年度コミュニティ・スクール委員

学園長：柳瀬 泰

副学園長：鈴木 尚子

副学園長：賞雅 技子

会長：石井 章夫

副会長：小山 雅巳

副会長：吉野 恵蔵 相談役：小池 敏雄

地域部

- 浅見 忍
- 高野 康弘
- 高島 和美
- 田所 孝
- 秦野 勤
- 賀部 伸一郎

サポート部

- 小山 雅巳
- 金子 佳子
- 渡邊 真弓
- 大川 民雄
- 中塚 珠恵
- 山田 晶子

評価部

- 谷口 敏也
- 板橋 利定
- 西野 美由紀
- 則信 美樹子
- 遠藤 淳

広報部

- 村井 訓子
- 福島 健明
- 須田 浩史
- 米徳 一葉

CS委員の写真

部会委員

- 石井 秀明 (地域部)
- 細田 泰博 (サポート部)
- 猪越 郁子 (広報部)
- 目黒 磨紀 (広報部)
- 松谷 由美子 (広報部)



「CSだより」でふりかえる今・昔

三鷹の森学園は平成21年度開園です。学園章にある、3羽の青い鳥と3つの星は五小、高山小、三中を表しています。学園歌「あすのつばさ」の歌詞の中には井の頭・牟礼の特徴的な情景が描かれています。

三鷹の森学園も6年目を迎え、開園当時の保護者の方の多くはお子さんが三鷹の森学園を卒業しています。今回の「CSだより」の特集は「CSだより」でふりかえるコミュニティ・スクール委員会の今・昔です。過去を振り返り、今を確かめ、未来への一歩になりますように・・・

平成22年度6月「CSだより1号」発行



Q. 「CSだより」発行のきっかけは？

開園して1年間は「学園だより」という名前で、地域部が地域、保護者に向けて発行していました。

しかし、より多くの保護者、地域の方にご協力いただくには、まず取り組みを知っていただくことが一番ということで広報部がコミュニティ・スクール委員会に設置されました。

Q. コミュニティ・スクール委員会の部会は何をしているの？

平成22年度「CSだより4号」より



平成24年度「CSガイド」より



コミュニティ・スクール委員会の部会は子供の健全育成のために小・中単独では出来ない活動も、三校の垣根を越えて活動することで可能な教育援助や学校支援をスムーズに行うために必要なものです。

【地域部】

児童・生徒の豊かな人間性と社会性を育むために、地域の様々な人々との交流活動や地域ボランティアなどの社会貢献活動を支援し、学校と地域との橋渡しをします。

例：「花いっぱい運動」「ソフトバレーボール練習会」運営、「MISHOP」「はなかいどうまつり」へのボランティア派遣。

【サポート部】

教育ボランティア活動の窓口となり、学習サポート、部活動サポート、環境サポート、活動支援サポートなど学園の教育活動と地域人材の橋渡しをします。

例：「職業人の話を聞く会」「算数ボランティア」

【評価部】

各校の自己評価、保護者、児童・生徒を対象にしたアンケートを行い、学園の教育活動、コミュニティ・スクール委員会の取り組みを評価・検証します。

例：「学園評価アンケート」

【広報部】

「CSだより」の発行し、学園の情報とコミュニティ・スクール委員会の活動を地域・保護者に向けて発信することにより「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」を広く地域に浸透させ、学園運営が円滑に行われるようになります。例：「CSだより」

【漢検・英検実行委員会】

教育活動支援のために実務的な役割を担います。現在活動している漢検・英検実行委員会は中学校の保護者の方から「小学校のうちから漢字検定を受けたい」という声があり、開園を機に始めました。例：「漢字検定」「英語検定」

Q. コミュニティ・スクール委員会とは？学校運営協議会とは？

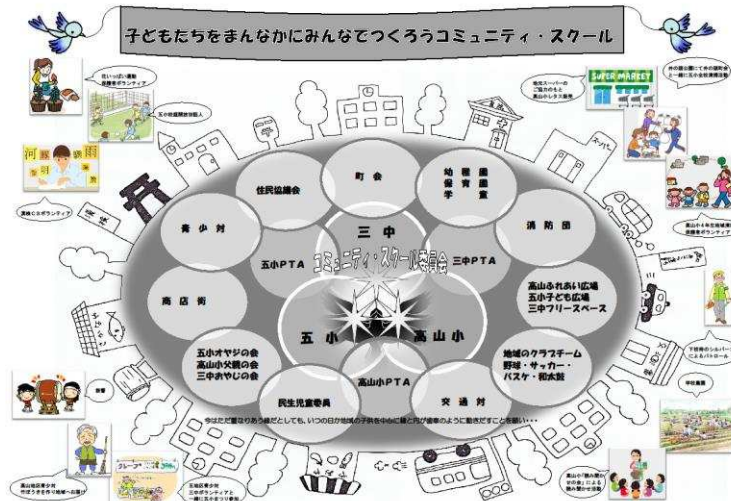
平成24年度「CSだより10号」より



三鷹市では全学校に「学校運営協議会」を、学園には「コミュニティ・スクール委員会」を設置しています。

学校運営協議会委員とコミュニティ・スクール委員会委員は同じメンバーで構成されており、教育委員会から任命された保護者や地域の皆さんが、一定の権限と責任をもって、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりしながら、学校の様々な課題解決に向けて、一緒に取り組んでいます。

平成23年度「CSだより10号」より



平成24年度「CSガイド」より



Q. コミュニティ・スクール委員とはどんな人？コミュニティ・スクールとPTAとはどう違うの？

平成23年度「CSだより11号」より



三鷹の森学園コミュニティ・スクール委員は学園長が推薦し、教育委員会が任命した、青少対会長、PTA会長、民生児童委員、学識経験者、地域協力者などのメンバーで構成されています。

三鷹の森学園の小・中一貫教育を支えるために学校運営に関して、3校の垣根を越えて校長先生、PTA会長の話聞きながら、子供にとって何がより良い教育なのか、先輩保護者として、地域の大人として考え、意見交換をしています。

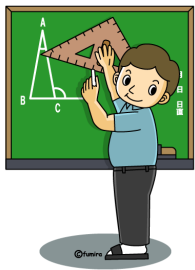
三鷹の森学園コミュニティ・スクール委員会とは？

三鷹の森学園では、今までに小学校と中学校との給食回数の違い、五小エアコン設置、児童・生徒の体力向上のための手だて、高山小の算数ボランティア導入、遅刻児童の対策など、常に学校、保護者に寄り添い、子供たちにとっての最善策を建設的に考えてきました。

時には辛口の意見が出る時もありますが、学校と風通しのよい関係を築き、保護者の声に耳を傾け、「すべては子どもたちのために」を合言葉に地域に根ざした学校づくりのために活動してきました。私たちコミュニティ・スクール委員の役割は、学校と話し合いながら、牟礼・井の頭の子供たちの豊かな学びのために地域の人と保護者と学校を繋いでいくことだと思っています。皆さんはまだこの取り組みの成果を実感できていないかもしれませんが、しかし私たちは実感しています。先生方がお互いの学校を越えて子供のこと、教育のことに取り組んでいること、子供のより豊かな人間力を育むために地域を頼りにしていること、小6年生が三中に入学することを楽しみにしていること等々。「三鷹の森学園」を巣立った子供が日本で、世界で活躍し、子育てにはまたこの地域に戻ってくる、そんな未来を想像してみませんか？

今年度より「CSだより」バックナンバーが各校PTA室に置いてあります。どうぞご覧ください。





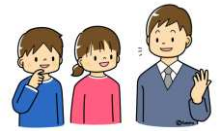
柳瀬 泰校長 算数示範授業 鷹教研 5月14日

私の授業論

子供のなかの

「たい」を大切に

ねらい：帰納、演繹の考え方をを使った問題解決力の育成



日頃から校長先生のお話の中には「数字」がたくさん出てきます。校長先生の授業、たくさんの大人たちに囲まれても、5年2組の子どもたちは伸び伸びと考えを表現していました。

「授業」とは、「教師が『教えた』ことを、子どもが『考えたい』ことに『転化する』働きかけ」だと考えています。

子供の中には、「たい」があります。魚の鯛ではなくて、「やってみたい」「はっきりさせたい」「知りたい」「考えたい」という能動的な思考や態度のことです。子供たちの中にたくさんの「たい」が生まれるような授業を心がけています。

本時は、黒板に「 $\square \square \div \square = \square \text{あまり} \square$ 」と板書して、

「一番大きな余りの数は、いくつになるかな？」

と問います。子供たちは一斉に手を動かし、ノートにいくつかの計算を行い、データを集めた上で「8より大きい余りはないようだ」という推論を行います。これを帰納的推論と言います。その上で、「除数が9の時、最大の余りは8」と結果を考察して、「除数は余りより必ず大きい」と演繹的に理解します。このことは、割り算の本質である2つの整数 a, b に対し、 $b \neq 0$ のとき、 $a = bq + r$, $0 \leq r < b$ の理解につながっていきます。

「わからない人いますか？」とこまめに聞いてくれたので安心して授業を受けることができました。

校長先生の授業は、問題が面白いので、ずっと考えていたくなり、楽しかったです。

先生の盛り上げ方が上手で、話も分かりやすく楽しい授業でした。初めは周りの先生が気になったけど、すぐ気にならなくなりました。また校長先生の授業を受けたいです。



CSIレポート

サポート部

三中より9月19日防災講演会、10月18日職業人の話を聞く会の講師を依頼され調整中です。

評価部

11月中旬配布「学園評価アンケート」の素案を作成中です。

今年度もアンケートにご協力をお願いします。

地域部

「花いっぱい運動～学校と学校のまわりをお花でいっぱいにしよう」6月6、9、10日

三校の児童・生徒・先生・主事さん・保護者の皆さんが協力して、学校とその周辺に花を植えます。五小ではお花を植えたプランターを日頃お世話になっている井の頭コミセンと井の頭郵便局にお届けしました。

<これからの予定>

はなかいどうまつり7月26日

花いっぱい運動9月19日、12月5日

国際交流フェスティバル9月21日



学校運営協議会報告

4月26日 第1回CS委員会

高山小の学校施設見学および授業参観後委員会を開催

教育委員会からの委嘱状伝達(新規委員)

退任委員、新委員の紹介、新委員自己紹介

学園長あいさつ

正・副会長の選出

(1) CS委員会の運営にあたっての学校運営協議会会則の確認

(2) 委員による役員推薦、会長・副会長の互選

(3) 新会長挨拶

学園長、副学園長より

(1) 各部担当委員の確認

(2) 今年度CS委員会等の予定

報告事項

(1) 26年度の学園の行事予定

(2) 26年度の研究計画

(3) 26年度の学校組織の人事異動、

学校組織、学校施設 * 報告、承認

(高山小転任教員紹介)

5月9日 第2回CS委員会

主な議題

第1回第五小学校学校運営協議会

・学校経営計画

・学校予算

・その他

(五小転任教員紹介)

6月13日 第3回CS委員会

主な議題

第1回第三中学校学校運営協議会

・学校経営計画

・学校予算

・その他

(三中転任教員紹介)

学園の予定

7月12～13日	高山小防災キャンプ
7月14～18日	三校あいさつ運動
7月19～20日	五小防災キャンプ
7月19日	高山小早朝歩く会
9月1～5日	三校あいさつ運動
9月30日	五小合唱祭
10月10日	三中合唱コンクール
10月11日	高山小運動会
10月16～18日	三中授業公開
10月18日	三中道徳授業地区公開講座
10月25日	五小・高山小学校公開
	高山小道徳授業地区公開講座
	五小道徳授業地区公開講座
11月22日	五小学芸会
11月29日	高山小学芸会
12月18～25日	三校あいさつ運動

各学校の様子や「CSだより」のイラストカラー版を学園HPに随時掲載していきます。どうぞご覧ください。

五小：<http://www.mitaka-schools.jp/gosho-es/index.html>

高山小：<http://www.mitaka-schools.jp/takayama-es/index.html>

三中：<http://www.mitaka-schools.jp/sanchu-jhs/index.html>

